

静岡県の医療状況

二次医療圏別

- ・救急搬送の状況
 - ・救急医療管理加算の状況
- } 平成27年度診療分
NDBデータ（SCR）
- ・一人当たり医療費
 - ・診療種別一人当たり医療費
- } 平成29年度診療分
協会けんぽレセプトデータ

標準化レセプト出現比（SCR）可視化ツールの概要

内閣府の経済・財政一体改革推進委員会の評価・分析WGにおいて、東北大学の藤森氏がNDB（National Data Base）を活用し、診療行為別の標準化レセプト出現比（SCR）を集計したデータを公表しました。

つきましては、都道府県別・二次医療圏別・市区町村別の診療行為別標準化レセプト出現比データ、及び当該データを可視化するツールを作成しましたので、データの一部を提供させていただきます。

内閣府（平成29年4月6日）
第2回評価・分析WG
藤森委員提出資料より

- レセプト情報等を集約したNDB (National Data Base) を活用し、各診療行為（診療報酬の算定回数）の地域差を「見える化」
- 各都道府県の年齢構成の違いを調整し、レセプトの出現比(SCR)として指数化(全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる)
- 外来約2,200項目、入院約2,800項目の診療報酬項目のSCRを一般に公開(都道府県別、二次医療圏別、市区町村別)

※二次医療圏別、市区町村別は平成29年4月28日に公表

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/mieruka/index.html>

SCR(Standardized Claim data Ratio)とは

全国の性・年齢階級別レセプト出現率を対象地域に当てはめた場合に計算により求められる期待されるレセプト件数と実際のレセプト件数とを比較したもの。年齢構成の異なる地域間の比較に用いられSCRが100以上の場合は全国平均より当該項目の件数が多いとされる。

$$\begin{aligned} \text{SCR} &= \frac{\sum \text{性・年齢階級別レセプト実数}}{\sum \text{性・年齢階級別レセプト期待数}} \times 100 \\ &= \frac{\sum \text{性・年齢階級別レセプト数}}{\sum (\text{各地域の性・年齢階級別人口} \times \text{全国の性・年齢階級別レセプト出現率})} \times 100 \end{aligned}$$

(NDB集計対象データ)

・平成27年度診療分 平成27年5月～平成28年5月審査分から抽出

・合計約10.1億件のレセプト 医科:外来 約983百万件 入院 約16百万件 DPC:約11百万件

※医療機関所在地ベースの集計であり、流出入は考慮していない

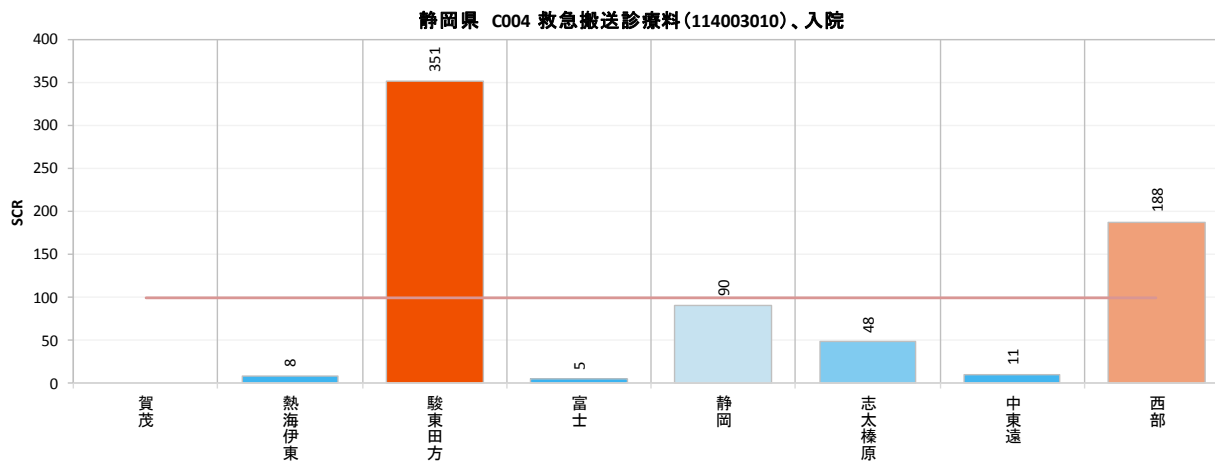
※公費単独(生活保護等)は含まれていない

救急搬送診療料（入院）

入院・外来別 入院
 診療行為 114003010 救急搬送診療料 C004
 件数 25,234

入院
 C004 救急搬送診療料(114003010)
 25,234

凡例		偏差値
SCR	色	
261	■	70
224	■	65
188	■	60
152	■	55
116	■	50
79	■	45
43	■	40
7	■	35
- 29	■	30



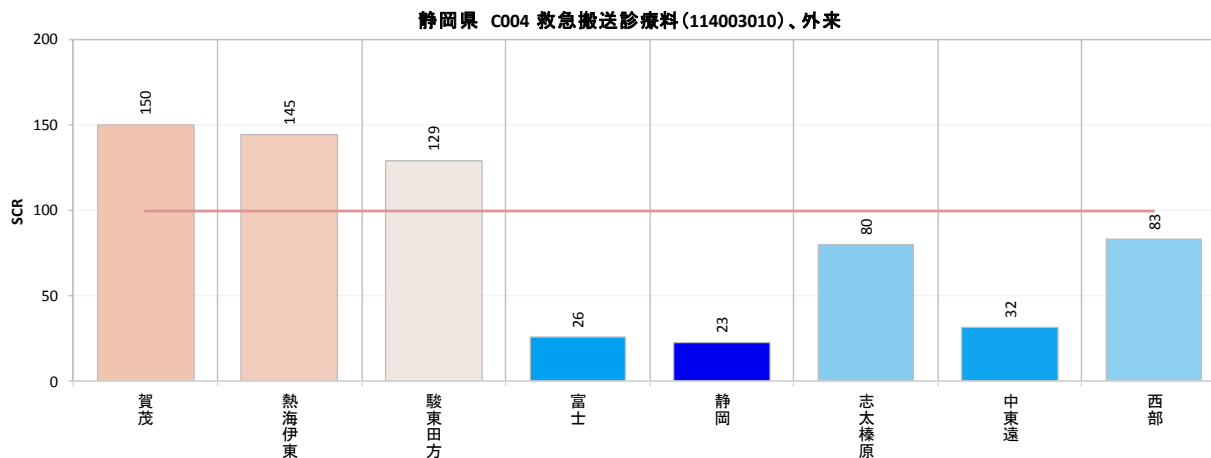
二次医療圏別にNDBデータより、入院分の救急搬送診療料の標準化レセプト出現比（SCR）を集計。「駿東田方」が最も高く、つづいて「西部」が高かった。

救急搬送診療料（外来）

入院・外来別 外来
 診療行為 114003010 救急搬送診療料 C004
 件数 51,681

外来
 C004 救急搬送診療料(114003010)
 51,681

凡例		偏差値
SCR	色	
221	赤	70
197	赤	65
172	赤	60
148	赤	55
123	赤	50
99	青	45
74	青	40
50	青	35
25	青	30



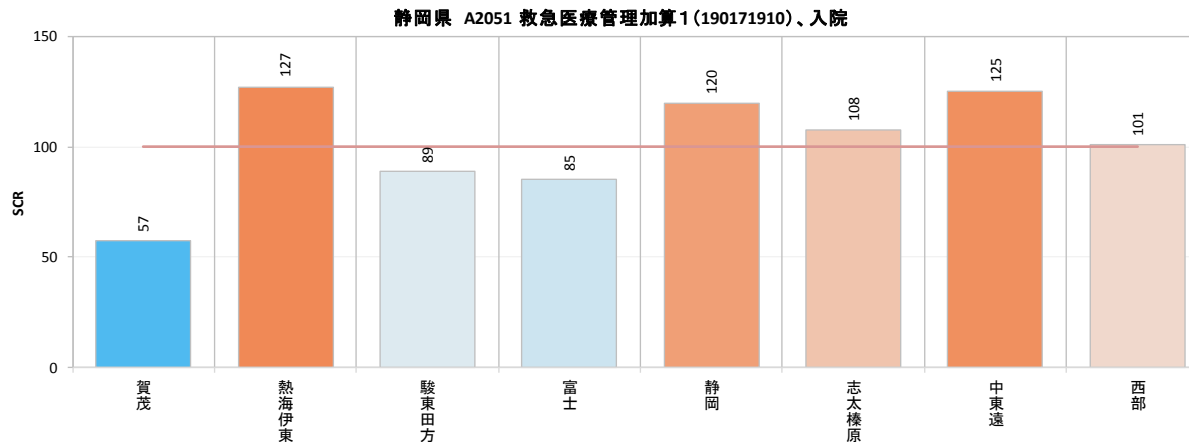
二次医療圏別にNDBデータより、外来分の救急搬送診療料の標準化レセプト出現比（SCR）を集計。「賀茂」「熱海伊東」「駿東田方」が全国にくらべて高い傾向となった。

救急医療管理加算 1（入院）

入院・外来別 入院
 診療行為 190171910 救急医療管理加算1 A2051
 件数 2,063,759

入院
 A2051 救急医療管理加算1(190171910)
 2,063,759

凡例		偏差値
SCR	色	
146	赤	70
133	赤	65
120	赤	60
106	赤	55
93	白	50
80	青	45
66	青	40
53	青	35
40	青	30



二次医療圏別にNDBデータより、救急医療管理加算1の標準化レセプト出現比（SCR）を集計。
 「熱海伊東」「中東遠」「静岡」が全国にくらべて高い傾向となった。

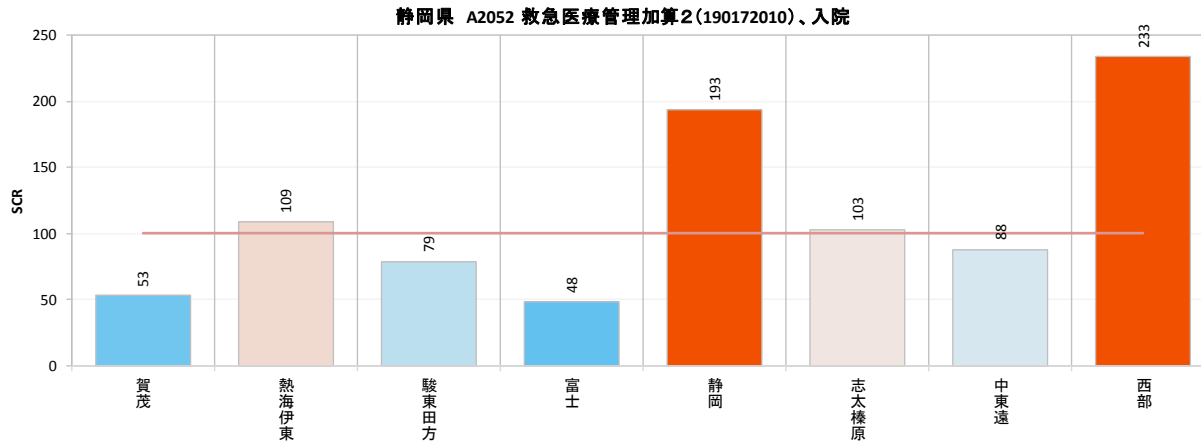
※救急医療管理加算1：医師が診察等の結果、緊急に入院が必要であると認めた重症患者に算定される。

救急医療管理加算2（入院）

入院・外来別 入院
 診療行為 190172010 救急医療管理加算2 A2052
 件数 802,035

入院
 A2052 救急医療管理加算2(190172010)
 802,035

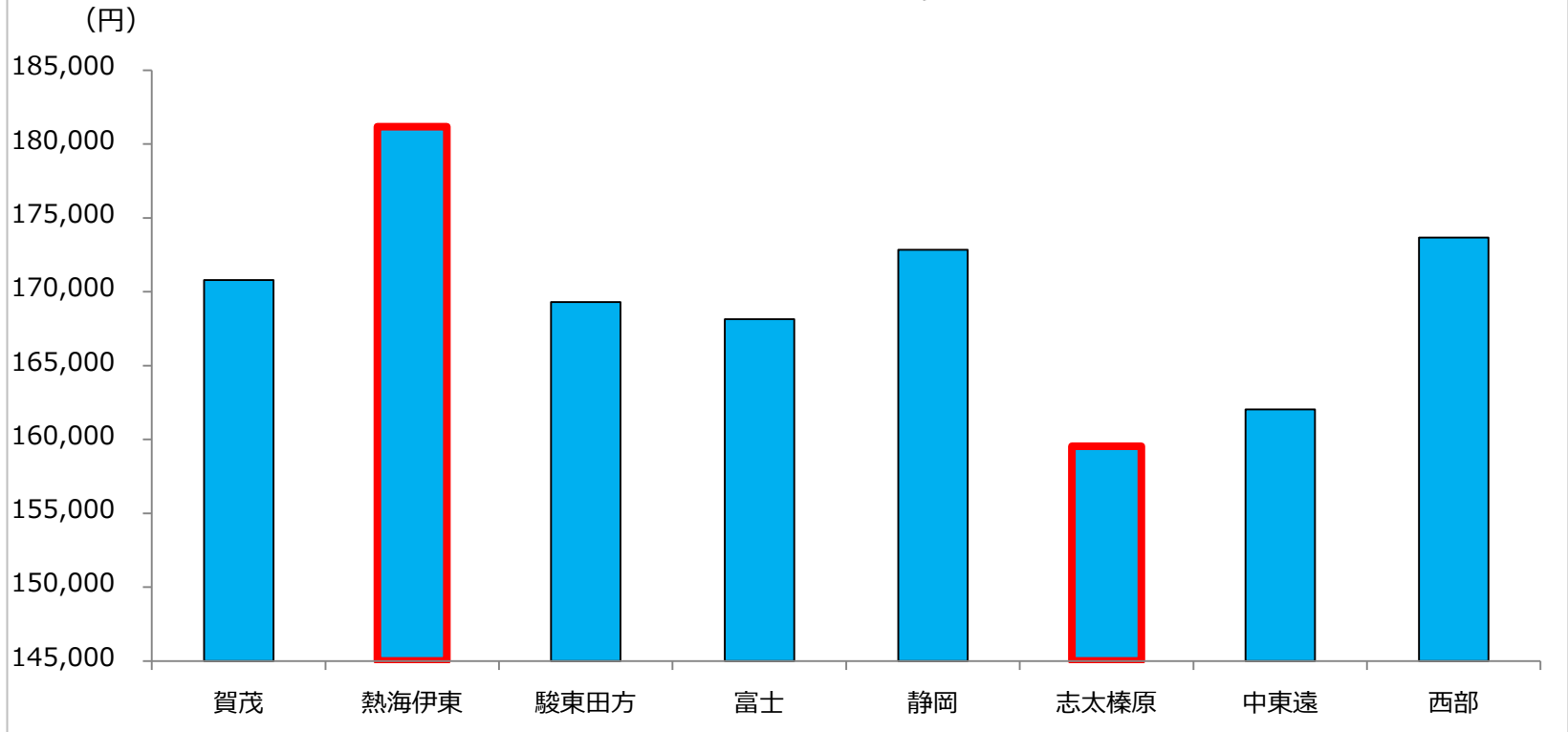
凡例	SCR	色	偏差値
	180	赤	70
	159	赤	65
	138	赤	60
	118	赤	55
	97	赤	50
	76	赤	45
	56	赤	40
	35	赤	35
	14	赤	30



二次医療圏別にNDBデータより、救急医療管理加算2の標準化レセプト出現比（SCR）を集計。
 「西部」「静岡」が全国にくらべて高い傾向となった。

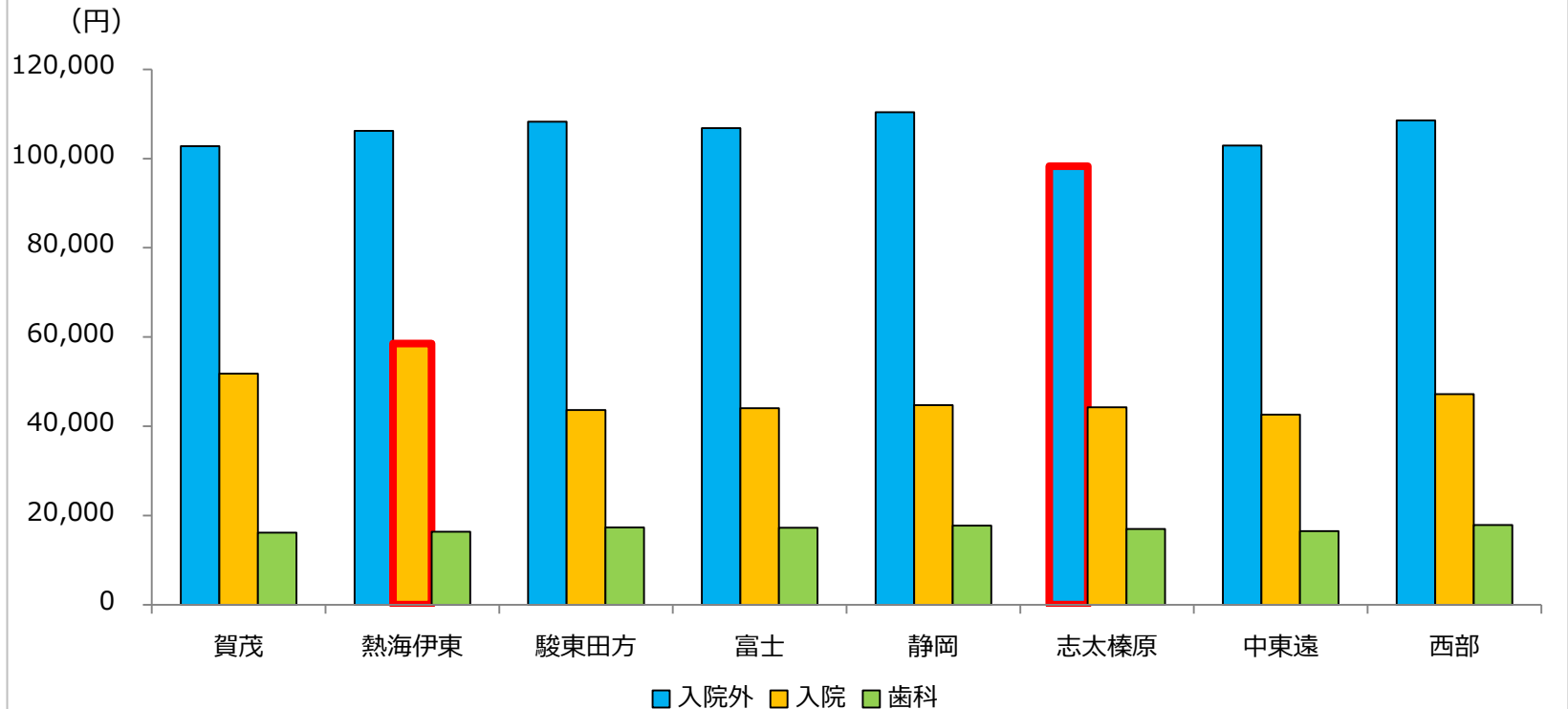
※救急医療管理加算2：医師が診察等の結果、緊急に入院が必要であると認めた救急医療管理加算1に準ずる重篤な状態の患者に算定される。

二次医療圏別一人当たり医療費



二次医療圏別に協会けんぽデータより、一人当たり医療費を比較。
「熱海伊東」が最も高く、「志太榛原」が最も低かった。

二次医療圏における診療種別一人当たり医療費



各二次医療圏における診療種別一人当たり医療費を協会けんぽデータより比較。

- ・一人当たり入院外医療費は、「志太榛原」が他の二次医療圏と比べ、低い医療費となった。
- ・一人当たり入院医療費は、「熱海伊東」が他の二次医療圏と比べ、高い医療費となった。
- ・一人当たり歯科医療費は、二次医療圏による差はあまり見られなかった。